

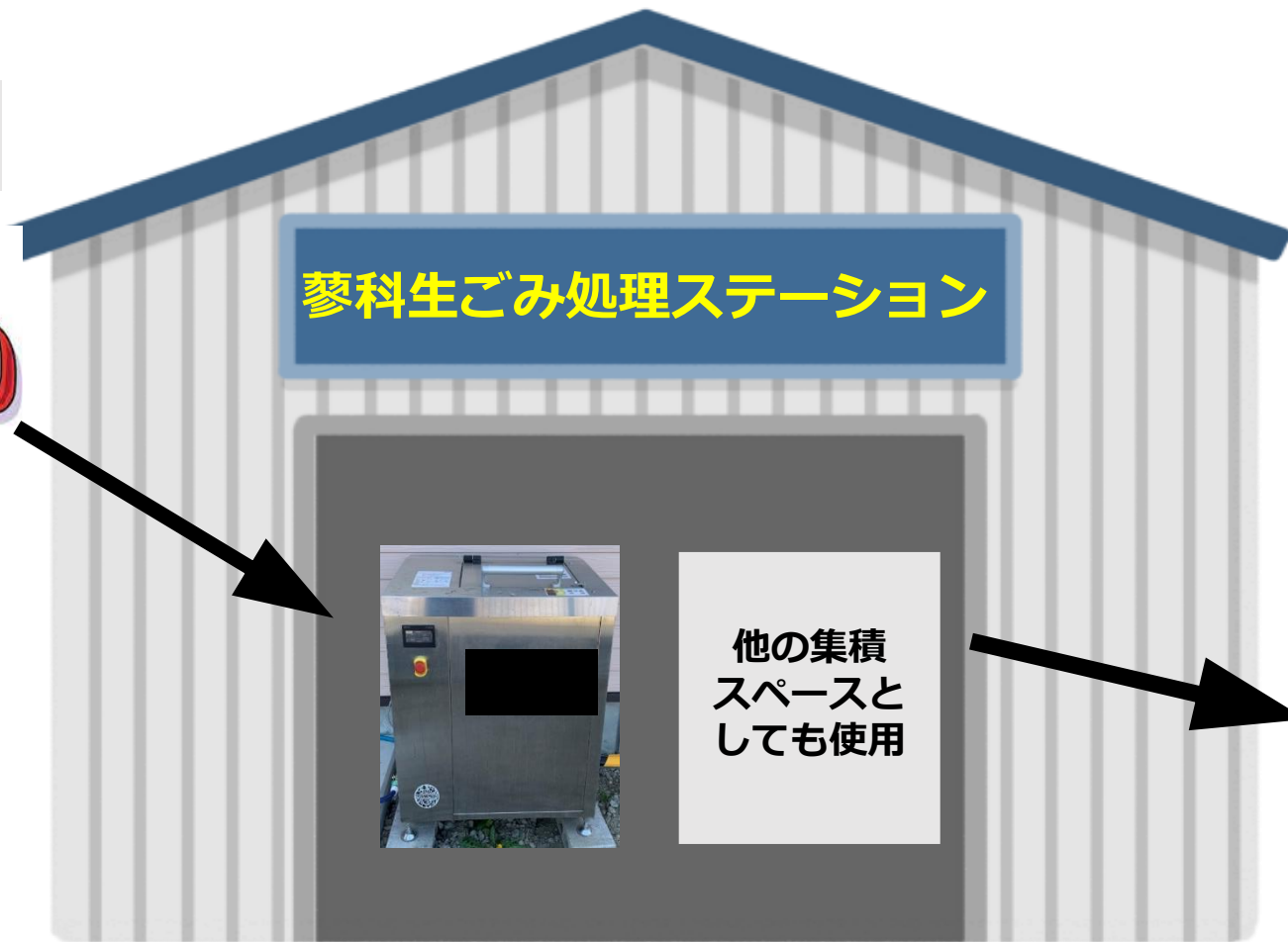
蓼科生ごみ処理ステーション ～生ごみ処理機の運用について～

4月1日から稼働開始！

生ごみ処理のイメージ

- ・ 施設は生ごみ処理や、他のごみの集積所として活用します。
- ・ 施設の大きさは、隣接する資源ごみ集積所程度です。

生ごみ



蓼科生ごみ処理ステーション

他の集積
スペースと
しても使用

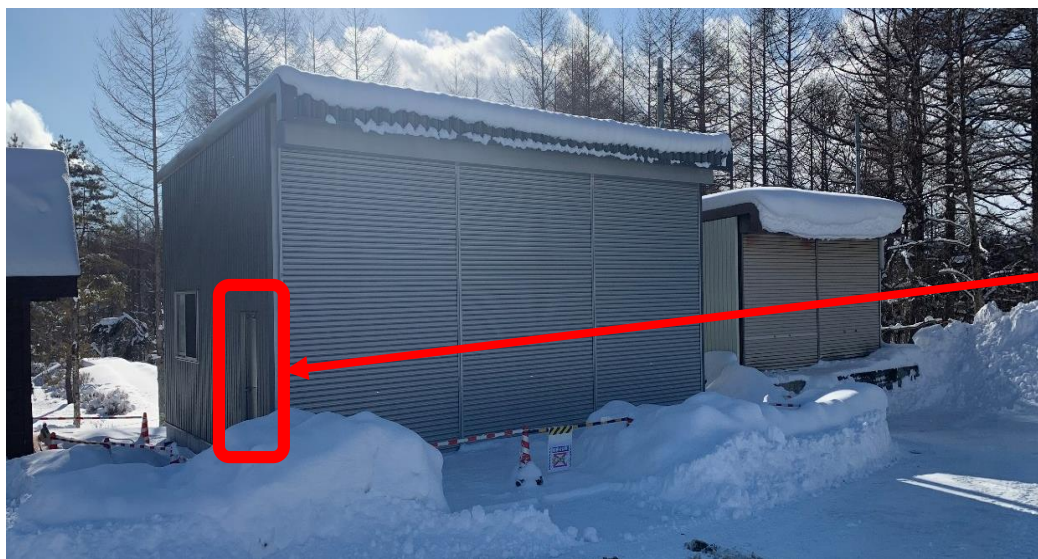


生ごみ処理機の設置の効果について

| | 項目 | 詳細 |
|-------|----------------------------|---|
| 設置の効果 | ごみ指定袋の削減 | 生ごみ処理機に生ごみを投入する分、ごみ指定袋を使用（購入）する必要がなくなる。 |
| | 環境にやさしい | 焼却の際に発生するCO2の排出の発生を抑制することができる。 |
| | 可燃ごみの減量化 | 可燃ごみとなる生ごみが処理機により処理されるため、可燃ごみの減量化につながる。 |
| | 資源ごみの搬入時に生ごみの投入が可能 | 資源ごみ等（紙類、衣類等など）の集積庫に隣接しているため、資源ごみ等の搬入時に生ごみの搬入も可能。 |
| | 生ごみを分別することで、他の可燃ごみは長期保管が可能 | 可燃ごみから、生ごみを分別するため、他の可燃ごみについて、長期保管が可能となり、まとめてごみ集積所に運搬できる。 |
| | 発酵臭 | 消滅型生ごみ処理機となるため、他のバイオ式生ごみ処理機や、乾燥式生ごみ処理機に比べ発酵臭を飛躍的に抑制することができる。また、室内設置も可能。 |
| ご協力事項 | 生ごみの運搬 | 蓼科生ごみ処理ステーションまで、生ごみの運搬をお願いします。 |
| | 生ごみの分別 | 生ごみ処理機に投入可能な生ごみの分別をお願いします。 |

生ごみ処理機の運用について

蓼科生ごみ処理ステーションの建設

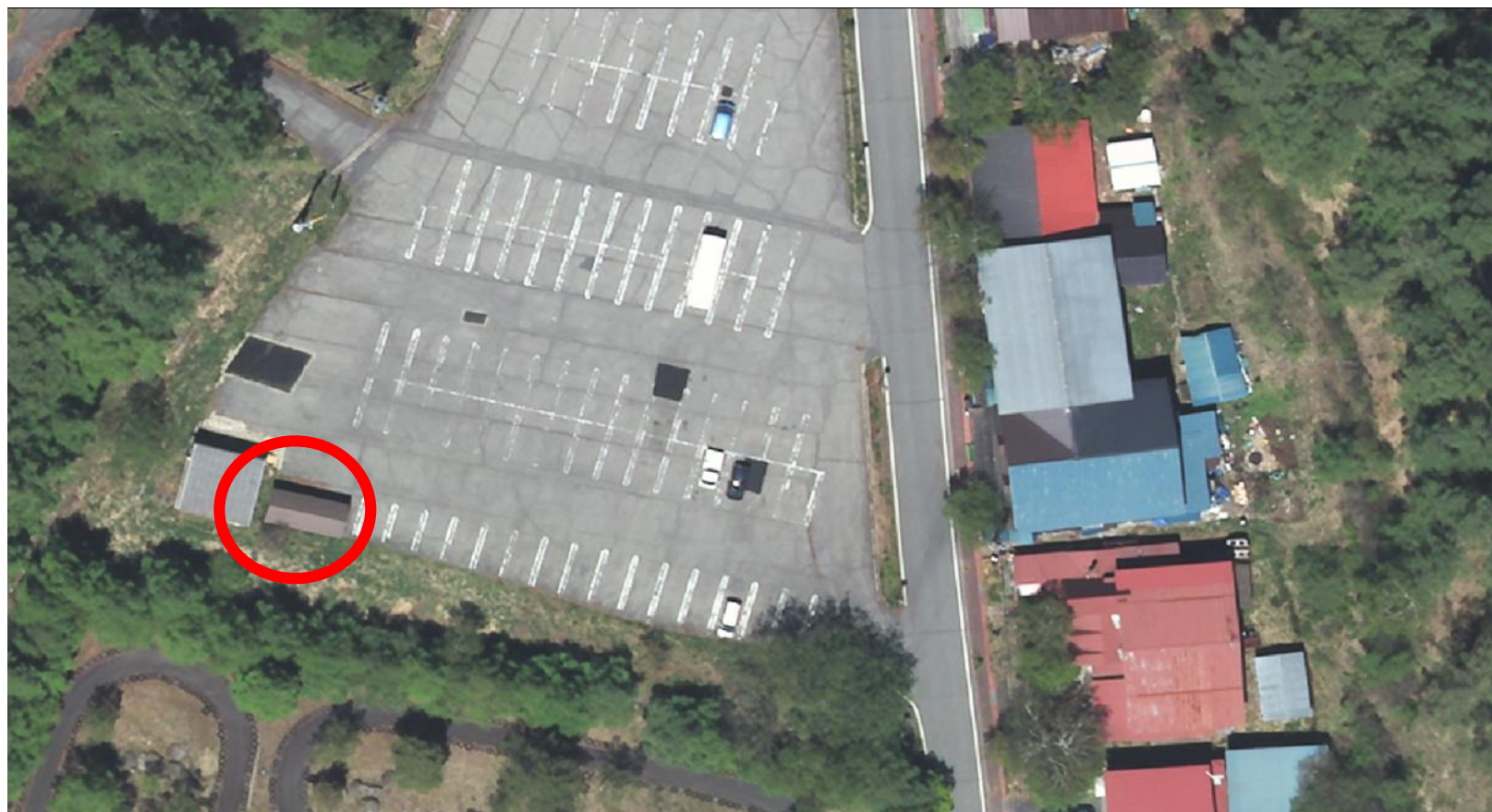


- ・ 6月の説明会後に設計が着手され、今年の1月に施設建屋が完成しました。
- ・ 施設の名称は、「**蓼科生ごみ処理ステーション**」です。
- ・ 施設の正面は、シャッターになっていますが、収集作業用のシャッターのため、普段は施錠します。
- ・ 利用する住民の皆様は**施設の両側が扉**になっていますので、そちらから施設にお入りください。

蓼科生ごみ処理ステーションの建設場所

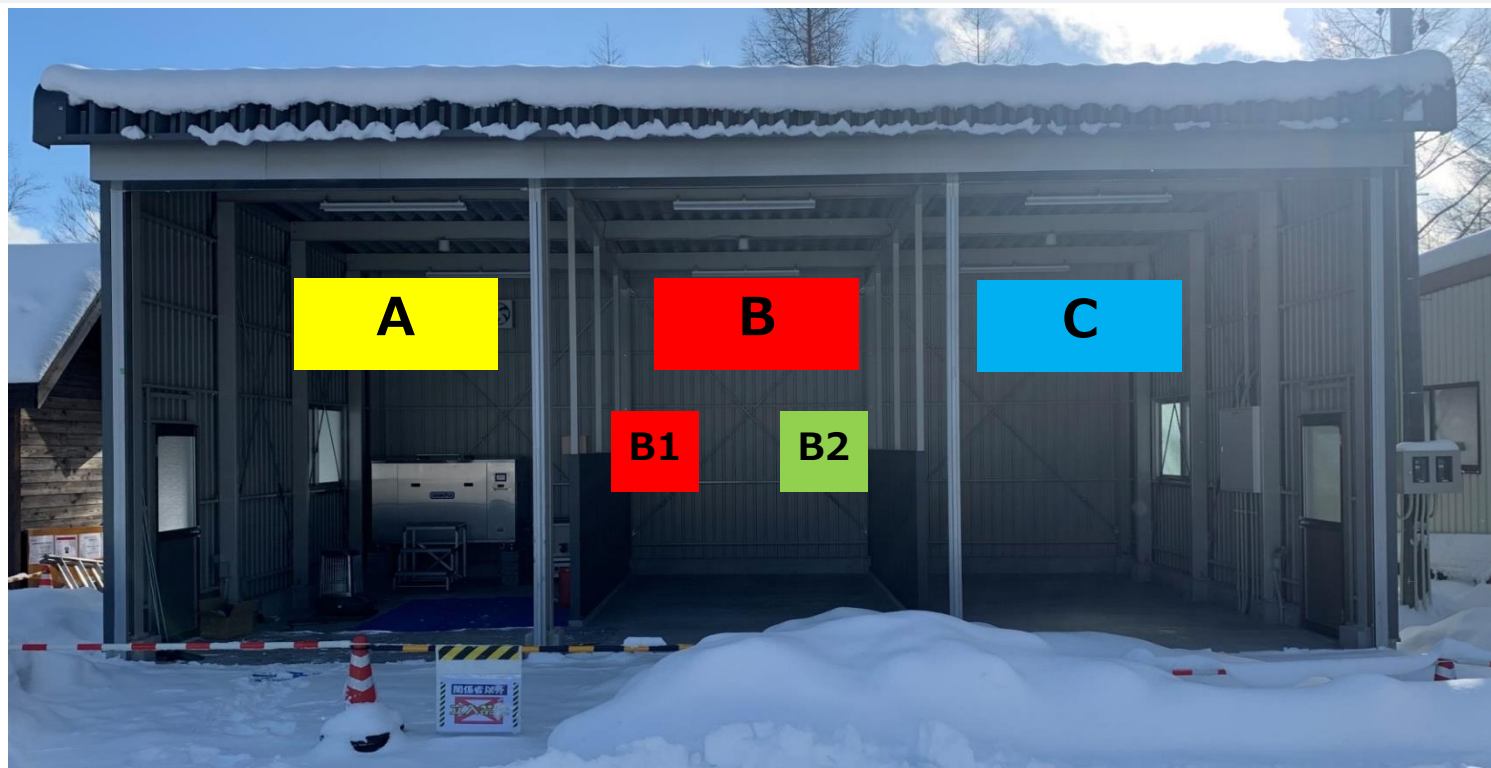
- ・ 蓼科生ごみ処理ステーションは、女神湖商店街駐車場の一角（資源ごみ等集積庫の横）に建設されました。
- ・ 生ごみ処理機は、施設内に設置されています。

女神湖商店街駐車場の一角（資源ごみ集積庫の横）に建設



蓼科生ごみ処理ステーション内の利用方法

- ・施設内は、3つに区分けされており、それぞれ利用用途が異なります。



A : 生ごみ処理機の設置、生ごみ投入場所

B : 可燃ごみ集積場所 (B1は家庭系可燃ごみ、B2は事業系可燃ごみ)

C : 蓼科区3班の不燃ごみ、容器包装プラスチック類等の集積場所

生ごみ処理機について

1月に生ごみ処理機の設置が完了！



生ごみ処理機の特徴

- 消滅型生ごみ処理機：150Kg／日
- 微生物の繁殖活動に必要な「水分」「酸素」「温度」を管理し、生ごみと微生物ハウスを混ぜ合わせます。
- 機器内の環境を保つことにより、微生物の力で生ごみを効率よく分解します。
- 生ごみの種類により処理時間に差はありますが、概ね24時間で処理が完了します。

生ごみ処理機に投入できるものの例



ごはん



パン



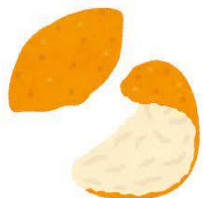
葉物



リンゴの芯
(キャベツなどの芯もOK)



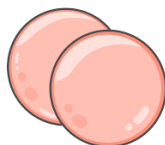
揚げ物



果物の皮



魚の骨



ハム



野菜
(トウモロコシの芯、玉ねぎの皮は除く)

留意事項

- 投入できる生ごみは一般的に人が食べられるものです。
- 生ごみの水はなるべく切ること。
- 調理残渣は細かいほうが分解されやすいです。

生ごみ処理機に投入できないものの例



貝殻



太い骨



卵の殻



玉ねぎの皮



とうもろこしの芯



梅干しなどの大きな種^{たね}



たばこ



紙類



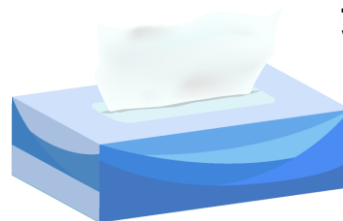
プラスチック類



スプーン・フォーク



つまようじ



ティッシュ

留意事項

- 一般的に人が食べられないものは、投入できません。
- たばこ、紙、プラスチック、金属など、分別にご注意ください。

生ごみの投入方法②・③

- ②計量と記入が終わったら、生ごみ処理機のふたを開け、生ごみを投入してください。
- ③生ごみの投入が完了しましたら、ふたを閉めてください。

注1 生ごみの投入後に生ごみ処理機の内側に生ごみが付着している場合は、生ごみ処理機の横に設置してあるホースで、生ごみ処理機内を軽く洗浄してください。

注2 生ごみ処理機のふたを開けるとごみ処理機の中で駆動しているブレードが自動で停止し、ふたを閉めるとブレードが再駆動します。

注3 ふたを開けた際に生ごみによりブレードの先端が見えなくなっている場合は、生ごみ処理機の投入可能量がいっぱいの状態です。

※投入された生ごみは概ね24時間で処理されますので、処理機がいっぱいの場合、少し時間をあけてから生ごみを投入して下さい。



生ごみ処理機の上部に取っ手がついています。取っ手を上方に向けて上げて、生ごみ処理機を開けてください。



ブレードの先端が見えなくなっている場合は、いっぱいの状態です。

生ごみ投入の全体の流れ

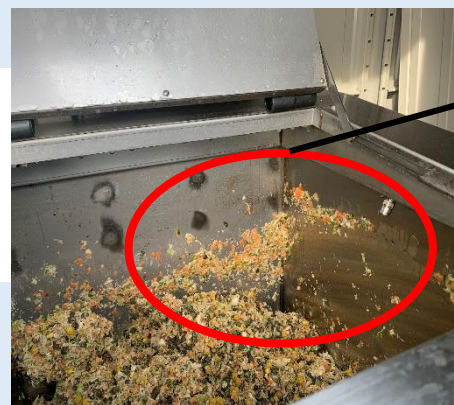
① 生ごみの投入量を計量し、生ごみの投入量を記入用紙に記載。



② 生ごみ処理機のふたを開けて生ごみを投入。
(生ごみ処理機の中の内側が汚れている場合、付属のホースで軽く洗浄。)



③ 生ごみ処理機のふたを閉める。



これをホースで軽く流してください。

生ごみ処理機利用日の割り振りについて

生ごみ処理機の1日あたりの処理量は150kgです。蓼科地区から排出される1日あたりの生ごみを単純計算では十分に処理することが可能ですが、**繁忙期等の時期的要因により、生ごみ処理機の処理可能量をオーバーする場合があります。**そのため、**白樺湖地区の方は、月・水・金・日曜日、女神湖地区の方は、火・木・土曜日に生ごみ処理機を利用することを意識してください。**

(基本的には蓼科地区全体の生ごみを処理することが可能と見込んでいますので、繁忙期等に意識していただく程度で、強制するものではありません。)

生ごみ処理機利用日

| 白樺湖地区 | 女神湖地区 |
|---------|-------|
| 月・水・金・日 | 火・木・土 |

※年に数回、生ごみ処理機の定期保守がございます。定期保守の際は、施設への業者の出入りがございますので、ご協力をお願いいたします。

可燃ごみ集積スペース（箇所B）について

- ・施設の真ん中のスペースは、可燃ごみ集積スペースとなっています。生ごみ処理機に生ごみを投入する際などに併せ、ご利用ください。



利用の際の注意事項

- ごみ指定袋に入れた可燃ごみ以外は置かないでください。
- 可燃ごみを高く積み過ぎないようにしてください。（積む高さは腰程度まで）
- ごみ指定袋には地区名（事業所名）と名前を必ず記入してください。
- このスペース（箇所B）への可燃ごみ以外のゴミ（粗大ごみ、小型家電、不燃ごみ等）の積置きは、不法投棄とみなす場合があります。

蓼科区3班 不燃ごみ、容器包装プラスチック類等集積スペースについて（箇所C）

- ・施設の向かって右側のスペースは、蓼科区3班の不燃ごみ、容器包装プラスチック類等のごみ集積スペースになります。こちらのスペースは、蓼科区3班専用の集積場所になりますので、**蓼科区3班以外の方のご利用は、控えてください。**



利用の際の注意事項

- **蓼科区3班専用の集積場所となります。**
【集積できるもの】
 - ・不燃ごみ（ガラス・陶磁器類、金属類）
 - ・容器包装プラスチック類
 - ・缶類
 - ・びん類
- **コンテナの管理等につきましては、蓼科区3班でお願いします。**
- **ごみ指定袋には地区名と名前を必ず記入してください。**
- **ごみは高く積み過ぎないようにしてください。（積む高さは腰程度まで）**
- **このスペース（箇所C）に集積できないごみ（粗大ごみ、小型家電等）の積置きは不法投棄とみなす場合があります。**

おわりに

ごみを焼却しないことは、単に処理費用が安価に済むだけではなく、地球環境を保全していくための、脱炭素社会形成の一助になります。皆様のご協力をお願いいたします。

